

五、終戦より敗退迄の行動概要

終戦後諸手続終了後、専ら防疫ニ意思ヲ用キ
給ニ依向シテ計ル為、四箇所ニ移駐シカ対策ニ遺憾
ナキヲ期シタリ。又他方内地帰還期日、三期ニ對シ
テ想ニ現地自活作業、徹底ヲ期シタリ
輸送一否米餉疎、同特筆ニ事次ニレ

戦史資料調査、件

船舶工兵第三聯隊第一中隊 肥田木隊

一、部隊名及部隊履歴、概要、部隊長名

船舶工兵第三聯隊第一中隊

昭一九六、二三、和歌山ニ編成、内地港灣出発昭一九七、二、沖繩本島

着、一九七、四、同日第一中隊喜古島派遣、夕ノ出発、一九七、一九、喜古島着

同日、昭一九八、二、間、揚陸作業ニ従事

昭一九八、二、肥田木少隊石垣島揚陸作業援助、夕ノ出発、一九八、二、

石垣島着、同日、昭一九八、二、間、海上輸送業務ニ従事

部隊長 陸軍少佐 大島 詰男

二、指揮隷屬關係及其ノ変遷、概要

船舶第七輸送司令部 ↓ 第三二軍指揮下 ↓ 台湾軍指揮下

参加セル主要ナル作戦(戰鬥)、概要、死傷、損耗

沖繩作戦

戦傷死、四名

三、台養新上

37

補給、源泉ナル台湾ハ領キ、更換ト共ニ物質入年上多大、割約
ヲ受テ部隊渾身ノ努力ニ不抱漸ク杜絶ヲ予想セラル、状況ニ在リ、
悪性マラリヤ、猖一厥也ニシテ患者續出シ作戰勤教上ニ多大ノ影響
及セリ

(五) 終戦ヨリ歸還迄ノ行動概要

終戦後直ニ現地自活作業ニ従事昭々、一、二、三、四、歸還ノタメ
石垣島出発

(六) 其ノ他部隊経歴中特異ト認メラル、事項
ナシ

以上

(甲五章節)

戦史資料

獨立混成隊第四旅團司令部

一、部隊名及部隊復歴ノ概要 部隊長名

船舶固走通信隊隊員ニ大隊ヲ二中隊
昭和十九年四月四日石垣島出発 今年一月十一日石垣島之陸
爾今石垣島ニ在リテ船舶輸送ニ伴フ通信連絡ニ従ス
昭和二十年一月二十四日復員シタノ石垣島出発 今年十一月
二十九日浦賀上陸ス

部隊長名

陸軍少佐 道野四郎

陸軍少將 宮崎武造

一、指揮系統關係及其變遷ノ概要

内地出發以來才三隊長ノ指揮下ニ在リテ勤務アリ
一、奉命ニ赴キタル作戰(戦闘)ノ概要 死傷増耗

38